



広報

## 川越

—No. 420—

12月10日

■発行所 川越市役所

■電話 川越(0492)24-8811代

■発行人 川越市長 加藤瀧二

■編集 企画財政部企画課

畑の中に空がんなどがある(新宿町二丁目で)



# 農地が泣いています みんなで大事にして

川越市は県下でも有数の農業地帯で、米麦・野菜・果樹・畜産など幅広い生産は、市内だけではなく、広く首都圏の需要をまかなう上で重要な役割を果たしています。

ところが最近、都市化が進むにつれて農業生産環境の阻害が目立つて、農業の見直しムードが盛り上がっていますが、そのた

ち、農家は大変迷惑を受けて困っています。このことは、當農意欲を失わせる要因にもなりかねません。

世界的な食糧危機が叫ばれている折から、農業の見直しムードが盛り上がっていますが、そのた

めにはまず、みんなが理解し協力を合って、食糧生産の場である農地を大切にすることが必要ではないでしょうか。

そこで、ささいなことですが、農家の苦労を考えて次のような行為は絶対になくすようお互いに注意しましょう。

## やめさせよう

▽田・畑・用水路へ空がんや空び

▽農作物の近くで火を燃したり洗車をすること。  
▽犬の放し飼い、汚物の放置をする

▽生垣を農地との境界線いっぱいに植え込んで、外側の手入れもしないこと。



## 農業委員の選挙人名簿

### 一月十日までに登載申請を

農業委員会委員選挙人名簿は、

毎年一月一日現在で調整し、選挙人の確定をすることになります。

農業委員は、農家の代表として農地調整に関すること、農業生産

力の発展、農業経営の合理化や農家生活の向上、農業施策について国その他の行政庁への建議・要望など、農業者重要な仕事をしています。

次に該当する方は、申請によつて農業委員選挙人名簿に登載され選挙権者・被選挙権者となります。

なお、記載要領と申請書用紙は地区農業班長さんを通じて配布しますが、農業班に属していない方は、農業委員会から受領願います。

## 納期のご案内

今月は、国民年金保険料第3期分(12月末日まで)と下水道受益者負担金第3期分(12月25日まで)の納期です。

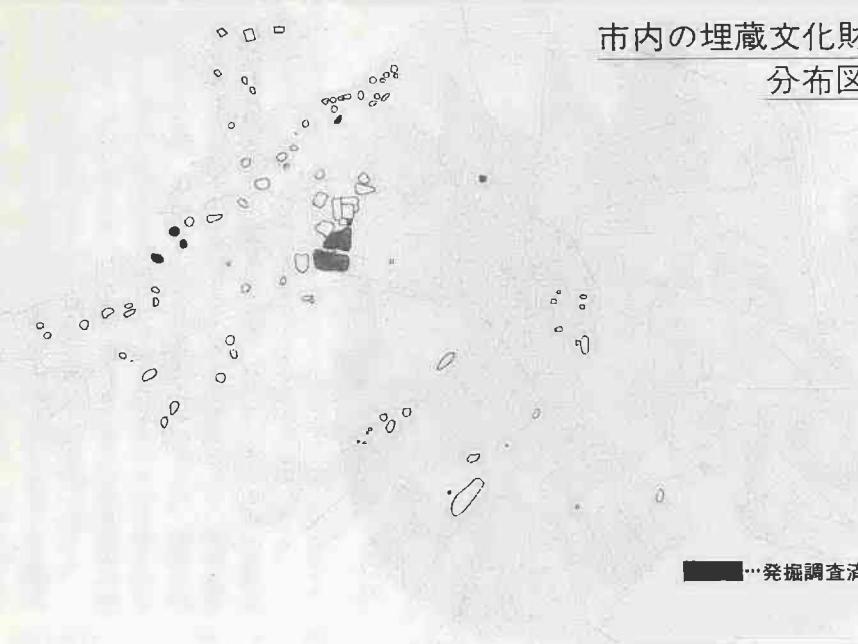
忘れずに納めましょう。



## 主な内容

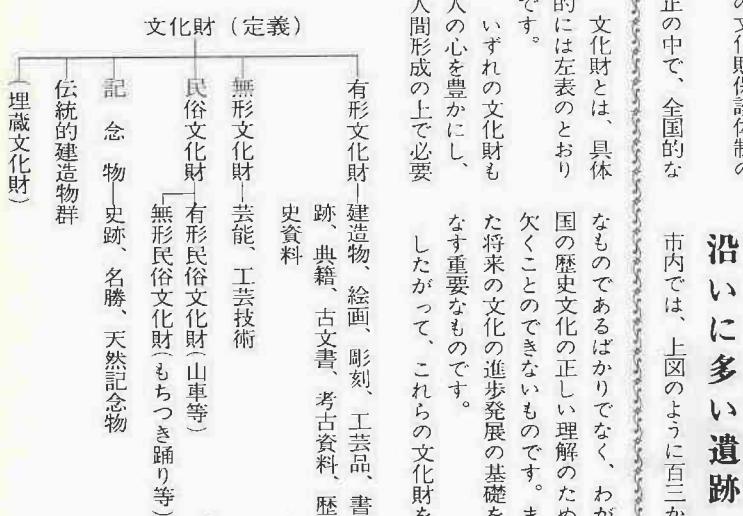
- 農地が泣いています、農業委員の選挙人名簿、納期のご案内 ..... 1P
- 児童手当などの請求を忘れずに、戸籍法改正、文化財保護法改正 ..... 2~3P
- “明日は我が身”的心がまえを、川越大火と酒田大火に学ぶ ..... 4~5P
- 水道管の冬じたく、暖房器具の火災予防、吸い込み下水槽の清掃 ..... 6~7P
- 料の引上げ、よみがえる“魚住む川”。少年の非行防止ほか ..... 8~9P
- 写真ニュース、まちのひろば
- 職業訓練校入校案内、点字講習会、スケート講習会、坂戸名人会
- 不用品コーナー、クリスマスの集い、婦人会館、公民館だより ..... 10~11P
- こんなにちは奥サマ、図書館だより、愛のプレゼント、俳句ほか ..... 12P

市内の埋蔵文化財  
分布図



…発掘調査済み

## 文化財とは



文化財とは、具体的には左表のとおりです。いずれの文化財も人の心を豊かにし、人間形成の上で必要になります。

### 入間川・小畔川沿いに多い遺跡

市内では、上図のように百二か所であります。

これらの改正の中で、全国的な

的には左表のとおり

です。

この改正の中でも、全国的な

には左表のとおり

です。









# こんにちは



の家でも同じよ

うなものばかり

と文句の出る始

末。この辺で、

何かもう一工夫

欲しいところで

す。

「こんな工夫はいかがでしよう」

▽お節料理だからといって、重箱

と柳箪に固執せず、身近な食器

を利用してみる。

▽重箱を貰いかえるというような

場合、今度は卓上膳

にしてみたらいかが

でしょう。これは、

テーブルの上でも使

える、足のないお盆

のようなもの。重箱

より安いし、日常生活

活にも役立ちます。

▽「盛付は目で、取り

合せは味で」とい

ますが、料理を絵の

具に、キャンバスで

ある器に絵を描くよ

うに盛付、味は、「五

味」を絵動員して、

一本調子はきけましよう。

▽お節料理を買うときは……

▽お節料理は「キワモノ」。特に、

食品添加物(着色料、保存料)に

生ものとして扱うこと。

▽カマボコやダチ巻、ハムなどは、

生ものとして扱うこと。

▽製造年月日、材料等はよく確認。

しかし、正月料理こそ、家族み

んなのためにも、心のこもった手

料理で……。

※くわしくは、消費生活課(24)

（八八一一、内線四五四）へ。

（昭和三十二年六月十日第三種郵便物認可）

（月二回（十日・二十五日）発行一部四円）

（昭和51年12月10日 発行）

## 心をこめた手料理が一番

### 正月料理



（社会福祉協議会）  
会扱い  
一般社会福祉事業へ

（代表、湯島一さん）  
公衆電話協力会  
四十円・川越

三千円・大字藤間四〇八一三二  
三千円・岸町三丁目不老会  
六千円・小林政子さん（浦和市田島

四四〇）  
四千六百九十八円  
堅木親造さん（大字笠幡七六一  
二年奉仕同好会一同  
五千二百

五十六円・川越カブスカウト四・  
六團・五千円・佐藤圭明さん（岸

町二一五二一六）  
立正佼成会川越教会  
五千円  
山田清次さん（郭町二一一一  
三）  
九千九百十五円・川越ひ

ばり幼稚園父母の会  
吉沢 静香  
蓮枯れて園丁一人土を堀る  
小林 静香  
菊師の眼菊を離るる時やさし  
根生 静

柿の木にせいろを干して祭過ぐ  
下駄の歯が噛みし石ころ赤とんぼ  
矢島 政子  
小林 三清  
柿の木にせいろを干して祭過ぐ  
平野 りむ  
水な底に泡の影置く秋の水  
野々宮逃水子  
根生 竹子  
桜もみじたまには来よと里の母  
小杉 綾子  
畦に置く子をぶりかへり稻を刈る

### 新着図書のご案内

## 図書館だより

▽坂田栄寿「碁の布石戦略」池田書店  
▽加藤治郎「将棋の公式」東京書院  
▽大山康晴「将棋の勝ち方」

池田書店

▽影山稔雄「将棋実戦

入門」大泉書店

▽山本亨介「将

棋庶民史」朝日新聞社

▽山田道

美「現代将棋の急所」文芸春秋

▽栗原安行「麻雀競技全書」鶴書房

▽村石利夫「麻雀 実力テスト」池

一タ」「なぜベストをつくさない

のか」英潮社

▽円地文子「彩霧」

新潮社

▽福田紀一「ホヤ・わが

心の朝」新潮社

▽麻生恒二「家

庭散髪」グラフ社

▽水上勉「帰

山の雁（上・下）」実業之日本社

▽渡辺和多留「麻雀の遊

び方」金園社

官といわれるものすごい肝っ玉ト  
ツブレディー」一見書房  
▽松本  
猛「塔」集英社  
▽山本正雄「日本  
の工業地帯」岩波書店  
▽J・カ  
ンナ「調査」新潮社

▽司馬遼太郎「翔ぶが如く」（7）

▽深代惇郎「深代惇

郎の天声人語」朝日新聞

社

▽北杜夫・斎藤茂太

社

▽栗原安行「麻雀競技全書」鶴書房

▽村石利夫「麻雀 実力テスト」池

一タ」「なぜベストをつくさない

のか」英潮社

▽円地文子「彩霧」

新潮社

▽福田紀一「ホヤ・わが

心の朝」新潮社

▽麻生恒二「家

庭散髪」グラフ社

▽水上勉「帰

山の雁（上・下）」実業之日本社

▽渡辺和多留「麻雀の遊

び方」金園社

かくし田の刈田にのる雨の音

山崎 筑紫

山崎 はる

山崎の足のぬくもり秋の風

吉沢 玲子

吉沢 玲子

三沢 はる

山茶花や玩具の音の障子洩る

奥富 敏子

奥富 敏子

黙すれば野分の雲のなほ迅し

矢島 霞

霞

旅ひと日花野の雨となりにけり

冬田 水棹

水棹

秋の雨五重の塔の前へ降る

根生 静

根生 静

紫蘇の実や筍を使ふこと多し

吉沢 静香

吉沢 静香

菊師の眼菊を離るる時やさし

吉沢 静香

吉沢 静香

蓮枯れて園丁一人土を堀る

吉沢 静香

吉沢 静香

菊師の眼菊を離るる時やさし

吉沢 静香

吉沢 静香

菊師の眼菊を離るる時やさし

吉沢 静香

吉沢 静香